

鶴舞う形の群馬県（上毛かるた）より



# 鶴 風 群 馬

ハイブリッド支部総会

群馬県支部長 深澤恵子（S56・化）

新型コロナウイルス感染症が現れて3年。群馬県支部は今年度ようやく支部総会を開催することができました。2020年、人の集まるほとんどのイベント中止、学校をはじめ施設は休止を余儀なくされ、この先どうなるのか誰もが不安に感じていましたし、悔しい思いもたくさんしました。そんな2年の活動中止を経て、今年度は是非ともどんな形でも支部総会を開きたいと思い役員で協議し、対面とリモートを組み合わせたハイブリッド方式を採用しました。

私を含め役員は皆、リモート会議などほとんど経験がありませんでした。大勢でやるテレビ電話みたいな認識でした。まずLINEのグループ通話をやってみて、同じ画面に複数人が写る状況を初めて体験したと思います。前年に開催された鹿児島県支部のスカイプによるオンライン支部総会は大いに参考になりました。

そんな状況でしたが今年度は鶴風会本部のご協力により、会議用webカメラ（ミーティングオウル）をお借りし、Zoomによるオンライン総会を試してみることになりました。

オンライン総会の良いところは、遠方からも手軽に参加できることでしょうか。今回各地の支部役員の方が参加して、ハイブリッド方式を体験してくださいました。もちろん利点ばかりでなく欠点も感じられたことと思います。



Zoom 配信画面。中央がオウルカメラで映したもので、話者を捉えます。広角になっています。



一方支部会  
員の方々には、今回この方式は受け入れられなかったのかと思います。群馬県支部総会の大きな目的のひとつは、参加者の新しい出会いと再会の場であることです。

総会の様子

毎年この会で会えることを楽しみにしていると、県内外から集まって

くださる方々。あんな繋がり・こんな繋がりがあるって思い出話に花が咲いたり、初めまして今後ともよろしくと知人が増えたり、やはり懇親会の役割は重要です。同じ空間にいる一体感は何ものにも代えることはできません。

空気は吸うもの？読むもの？そして空気は思い出をよみがえらせるものではないでしょうか。

私は今年度、2度目の「ホームカミングデー」に参加しました。実験室の匂いに懐かしさを感じたのはもちろんですが、暗くなって、外の球体モニュメントと噴水のライトアップですっかり様子が変わった大学構内でしたが、その時吸った空気に何とも言えない懐かしさを感じました。習志野の夜のしっとりとした空気を思い出した瞬間でした。



五感の中で、唯一匂いだけが感情・本能に関わる「大脳辺縁系」に直接伝達されます。大脳辺縁系には記憶に関連する「海馬」という器官があります。（「JTB 総合研究所」より）

匂いって昔の記憶をよびおこすものようです。

人間の五感における知覚の割合は、視覚 83%聴覚 11%臭覚 3.5%触覚 1.5%味覚 1%と書われています。（ウィキペディアより）

オンラインで見て聴いて会場の様子の 94%が伝わるようですが、実はこの残り 6%が人と人とのコミュニケーションにとっても大切な感覚なのではないでしょうか。支部総会を開催し、会員の皆さんが直に語り合える場を設ける。そのことが支部の重要な役割かと感じました。

## 東邦大学理学部鶴風会群馬県支部規約 （一部抜粋）

### 第二章第4条

支部は支部会員の親睦を深めると共に会員相互の情報交換を行い、理学部鶴風会及び母校の発展に寄与することを目的とする。また、理事会及び評議員会との連携を図り、支部会員に広く伝達する。

### 第5条

支部は前条の目的を達成するため下記事業を行う。

- 1、支部会員間の親睦を深めると共に会員相互の情報交換を行い、各種集会等を開催する。
- 2、母校及び本部の情報を広く伝達する。
- 3、東邦大学理学部鶴風会の組織の一員として本部が推進する事業に協力する。
- 4、その他支部の目的を達成するために必要な事業を行う。

## 2022年度 理学部鶴風会群馬県支部活動報告

### 1) 2022年度第16回群馬県支部総会・講演会

令和4年10月30日(日)

会場「高崎アーバンホテル」

- ① 2019年度～2021年度 活動報告 決算報告・監査報告  
2022年度活動計画案 ・2022年度予算案 報告の通り承認される。

#### ② 講演会

- 「習志野だより」

伊藤 展枝 支部委員長

- 講 演

演題「高崎だるまの日記念イベント」について

講師 群馬県達磨製造組合 理事 飯野 雅史 様 (S61・化)

### 2) 支部役員会議

- 第1回役員会議 令和4年4月3日(日)

- ・支部総会開催の可否。開催方法。会場。講演会有無。
- ・オンライン会議の検討

- 第2回役員会議 令和4年7月10日(日)

- ・支部総会日時・場所・形式・議案
- ・講演会講師決定

- 第3回役員会議 令和4年10月22日(土) (zoom 会議)

- ・支部総会打ち合わせ
- ・「鶴風群馬」No12 発行について

- 会場リハーサル 令和4年10月29日(土)

- ・カメラ等接続確認

### 3) 「鶴風群馬」No12 発行

## 新一年生？

岩崎利一 (S51・化)

私が大学に入って暫く新一年生と呼ばれた。それは学生運動が盛んで試験ボイコットで進級卒業出来なかった旧一年生が居たから、二年生には新二年生がないので呼ばれなかったと思います。4月か5月になって進級卒業試験があり、それぞれ進級卒業して行きましたが、勝手に留年させるなと言う就職先からの声があったとか！中には学生集会でボイコットしようと呼びかけた手前ボイコットして留年した先輩もいました。

当時は何も思いませんでしたが、馬小屋教室。私たちの年代の校舎は古い木造が当たり前、小学校は木造校舎でした、中学は高崎歩兵十五連隊の兵舎(習志野は騎兵13~16五連隊)、高校も古い木造でしたが卒業する半年前に移転、新しいコンクリート製になりました。グラウンドは凸凹、まだ塀の出来ていない田んぼの真ん中で雲が流れて行く広い景色を覚えています。

教養科のあった船橋市区は、古くてもコンクリート製のビルでしたが、習志野地区の校舎は木造、それもかなり古い、父親曰く、校門は習志野連隊の門、木造の鴻志寮は士官の居る施設だった。これは新潟出身の人も同じと言っていた。各地の初年兵で入隊すると習志野の原っぱで野営の訓練がされた様です。今は中高校になった習志野地区に理学部やクラブの部室があったので覚えているのですが、校舎に天井は有りませんが、階段教室は土間だった。部室は前年火事に遭い新装の壁は石膏ボードで作られていましたが廊下は土間、コンクリート床だったと思います。また校舎の南は2m位の通路、セメントが無くなり玉砂利のようなコンクリート製で、横に西部劇で出て来るようなコンクリート製の水飲み場がありました。この通路は馬を洗ったりする所だったと思います。ですから船橋地区に有った中高校舎は床や廊下が高く馬小屋の建物では無かったのでは？と言っても私は中高校舎には入った事が無いので正確には分かりませんが戦前の建物ではないようです。



習志野地区に有った部室と言う写真、私の知っている建物と違うので焼けた古い部室かも知れません。出入口の床の高さに注目してください。低いでしょ！

昔をちょっと覗いてみましたが、長い東邦大学の歴史、知っているのは、ほんの僅か。昭和16年大

森から始まった帝国女子理学専門学校、昭和21年戦争が終わった習志野へ、昭和25年東邦大学理学部に変更し昭和27年に私が生まれる、昭和46年に門を叩いた。卒業の

年、船橋地区に戻り新築の理学部一号館に入りました。北方向には何もなく自衛隊の落下傘部隊のパラシュートが開くのが見えました。

近く開校 100 周年、入学して 52 年、歴史の中で古参の前半になることを感じます。

帝国女子医専は大正 14 年開校、薬科は昭和 2 年増設とあります。



2022/11/4 (金) のニュースに東邦大学の兵舎が解体されるニュースが出ました。見ると古いですが、内部は良く手入れされている。大扉には感心させられます。



この建物は馬小屋でなく倉庫として建てられ使われたのですが、やはり天井は無い



天井は高く見えるが、床が土間と同じと考えると天井は低い？

## 新型コロナウイルスの収束を願いつつ、よりよい支部活動を願って

原 秀介(S40・生物)

平成31年6月に理学部鶴風会群馬県支部長を深澤支部長にタッチし、年号も令和と変わり新支部長の元、一歩進んだ支部活動をと会員一同心を新たにしたところですが、新型コロナウイルスの感染拡大ということで令和に入り対面での支部総会がほとんど開催できず書面による承認が2年続きました。令和4年度の総会是对面方式とリモート方式でということになりましたが第16回支部総会・講演会を開催することができました。

前支部長として、さらに鶴風会群馬県支部の活動を充実するために思い出に残る支部活動を振り返り、さらなる支部活動が順調に進められればと願っております。

- ・平成16年9月11日(土) 発起人会開催

本部より常務理事、支部担当理事の参加を得て「設立趣旨説明」「理学部近況」「各支部状況説明」等話し合う

- ・平成16年9月30日 群馬県在住者の集い

在住者10名、本部理事4名参加 設立総会日の決定 情報交換

- ・平成16年10月17日 群馬県支部設置計画書承認願い 本部理事長に提出

- ・平成16年11月20日 本部理事会にて承認

以上のような手順を踏み発起人会を数回開き

### ◎東邦大学理学部鶴風会群馬県支部設立総会開催・研修会(第1回総会)

平成17年6月25日(土) 高崎ワシントンホテルプラザ

岡田理学部長・登坂理事長・鳥越就職室長・支部担当理事・支部会員 総勢25名

講演会「温泉とレジオネラ菌とのかかわり」 加藤 尚之 先生

#### 第2回総会 研修会 平成18年6月24日～25日

より情報交換を深めるため、宿泊研修とする

水上温泉 寶ホテル 20名宿泊 4名日帰り

講演「ムシの面白さを知ってるかい」 ぐんま昆虫の森 山中 幹夫 先生(平4 生)

#### 第3回総会 研修会 平成19年6月23日～24日

本年度は会員の要望により宿泊研修とする

高崎市倉渕町 はまゆう山荘 25名宿泊 3名日帰り

講演「上毛かるた・縁起だるまの少林山」講師 飯野 雅史 先生(昭61 化)

翌日研修自然探索 「吹き割りの滝」 「少林山達磨寺」

#### 第4回総会 研修会 理学部公開講演会 平成20年6月21日

ワシントンホテルプラザ

講演「色を利用して生きる魚たち」

講師 理学部生物分子学科 教授 大島 範子 先生

講演「君は虫のことを知っていますか」

講師 群馬県富岡農業指導センター指導員主任 山中 幹夫 先生

お二人の先生から事前にコメントをいただいております。

「川、湖や海にはいろいろな色や模様のある魚がいるが、どんなしくみで色づいているのか不思議に思ったことはないだろうか？

声を出せない魚たちは、同じ仲間と交信したり、敵や獲物から姿をくらすために、そして異性との出会いのために色を使う。「色とその変化」は、魚が生きるために重要な武器であり、進化の中で獲得したすばらしい仕組みである。サンゴ礁で美しく輝く熱帯魚の色の秘密にも迫ってみよう。」 **理学部 大島 範子**

「皆さん、虫のことをどれだけ知っていますか？好きな人はもちろん、虫が嫌いな人も、勇気を出して虫の世界をのぞいてみましょう。気持ちの悪い虫もいるかもしれませんが、知れば知るほど、好きになっていくはずです。クイズを中心に皆さんもよく知っている虫の意外な姿を紹介します。」 **西部農業事務所生産指導係 主任 山中 幹夫**

公開講演会については地方新聞に開催記事と当日の取材、高崎市教育委員会に児童生徒の参加依頼へ出向く。親子41組、会員、本部理事、評議員党総勢127名参加

## 第7回総会 研修会 平成23年6月25日～26日

久しぶりの宿泊研修とする

水上温泉 寶ホテル 23名 宿泊 4名日帰り

講演「第二のふるさと、水上に思う」

講師 水上温泉 寶ホテル女将 鈴木 明子 女将 (昭62・生)

長谷川 博 教授 出席 (アホウドリに夢中・オキノタユウの島で) 著書

翌日研修 「たくみの里」 ・水上～高崎間 蒸気機関車体験乗車

**10周年記念総会 講演会**では 理学部長 高橋 正 先生から「放射線の話」を伺い、放射線にかかわる基礎的な話から、放射線測定器「はかるくん」を使っての実測、体への影響、医学的活用、被災地での除染の問題等幅広く具体的に伺うことができ、放射線のメリット、デメリットを再認識することができました。

懇親会が盛り上がっているところに、富岡製糸場と絹産業遺産群が世界文化遺産に正式登録されたという一報が県職員である瀬下 昌幸 氏 (平3・物) より入り盛り上がりました。

まだまだ思い出深いことがたくさんありますが、次回にしたいと思っております。



また、支部活動をより活動的にしたいというご意見をいただき、支部情報誌「鶴風群馬」平成22年3月に1号発行から、令和5年には12号（本号）が発行されます。

もう一つの支部行事として体力向上を兼ね「群馬自然探索会」を始めました。

第1回 碓氷峠めがね橋を訪ねて・旧信越本線アプト式鉄道跡

第2回 伊香保温泉石段街と榛名湖畔の紅葉を訪ねて

第3回 ユネスコ無形文化遺産を目指す「富岡製糸場」を訪ねて

第4回 大河ドラマ「八重の桜」新島 襄・八重 ゆかりの地  
安中市を訪ねて

第5回 箕輪城・群馬古墳群「はにわの里」（かみつけの里）を訪ねて



第6回 こんにゃくパーク・だるまの里を訪ねて（絵付け体験）

コロナウイルスの感染拡大で探索会は途切れていますが、再開できればいいなと思います。



発行人：東邦大学理学部鶴風会群馬県支部

支部長 深澤恵子

支部事務局 〒370-0071 群馬県高崎市小八木町 462-1

Mail kakufuugunma@gmail.com